啓發

JCI
公益社団法人
福井青年会議所

2016 vol.02

受け継がれてきた城下ふくいの精神・風土

～全国有数の一乗谷城下、福井城下の姿～

1万人以上の人々が住み暮らした

一乗谷城下

城下町ふくい

68万石の全国屈指の城下

福井城下

ふくいの城下町にスポットを当て地域を活性化していく取り組みとして2017年に開催される全国城下町シンポジウム福井大会。この大会を前に地方有数の城下町であった一乗谷城下と福井城下について詳しい福井市立郷土歴史博物館 角鹿館長・印牧学芸員と一般社団法人朝倉氏遺跡保存協会 岸田会長、そして福井青年会議所 理事長板倉雄一による対談を実施いたしました。

板倉理事長　時代や地域が異なる代表的なふくいの城下町として、一乗谷城下と福井城下を題材に考察することから、ふくいのまちづくり、ひとづくりの歴史の背景を見出していきたいと考えています。まずは一乗谷城下について質問させていただきます。一乗谷城下は現在、遺跡として残っているものの面影と呼べるものはあまり残っておりません。一乗谷とはどのような城下町だったのでしょうか。

小京都を目指した戦国城下町「一乗」

岸田 清 氏
昭和22年6月6日生
一般社団法人朝倉氏遺跡保存協会　会長

岸田会長　朝倉孝景が越前一国を治めるために初めて一乗谷を本拠地として定め、城下町が始まったとされています。一乗谷の城下には1万人以上の人々が集まり、戦国城下町として103年間続きました。城下は、京都との密接なつながりを利用し、日本最古の花壇が作られ、ガラス玉や貴金属など当時の最先端技術を持った職人が多く住む、高い文化と技術を持った城下町であったと言われています。これは、現在でも通用する朝倉17箇条の決め事からもわかるように朝倉氏の優秀な統治能力のおかげだと考えています。

板倉理事長　一乗谷の谷間に1万人以上ですか。城下の拡大を考えたときに決して有利な地形だとは思えませんが、朝倉氏は、なぜ一乗谷を選んだのでしょうか。

岸田会長　当時は戦国時代ですから、防衛するための城を構えるには合理的な土地だったようですが、城下町を発展させるためには制限を受ける立地でした。そんな立地において、どのように1万人以上の人々が集まり暮らしていたのか、これは足羽川にヒントが隠されています。当時、街道も利用されていましたが、同じように足羽川を利用した水運で、塩などの貴重な物産が一乗谷へ運ばれ、朝倉氏の国力と城下を支えていました。実際に「阿波賀が一乗谷の入江」と呼ばれ水運を利用して運ばれた物資の集散地があり、人や物が集まる城下町でも最も繁華な場所として栄えたと伝えられています。福井城下でいうと浜町周辺に近いイメージでしょうか。

板倉理事長　一乗谷の城下はコンパクトな現在の都市に匹敵する近代的な城下町だったわけですね。では、時を経て、現在の福井市中心市街地へ城下は移るわけですが、北庄城、福井城とその城下はどのような城下町だったのでしょうか。

68万石を有した全国有数の福井城下

印牧学芸員　朝倉氏がついえたのち、天正3年(西暦1575年)に柴田勝家が足羽川を利用して北庄城を作ったと言われています。その後に築城される福井城と比較すると規模は小さいものでしたが、当時北庄を訪れたイエズス会の宣教師ルイス・フロイスは、織田信長の城下である安土の2倍もあったと記録していることから大きな城下町であったことが想像できます。また、滅亡した朝倉氏の一乗谷から多くの寺院や民家が移転しました。

板倉理事長　そのようにして、時代や地域を超えて技術や文化が引き継がれたわけですね。

印牧学芸員　はい、移転した寺院は現在も足羽山周辺に残っており、城下には一乗谷から町人が移住してできた一乗町もありました。一乗町は、現在の順化2丁目辺りとなり、結城秀康が大規模な拡張改築で築き上げた福井城下でも活躍していたと言われています。
福井城は、関ヶ原合戦後、越前国68万石を与えられえた結城秀康が入国した翌年から築城に取り掛かり6年後に完成しました。当初、福井藩は、全国第2位の68万石を持つ大きな藩であり、100万石を持つ加賀藩を抑える役割があったと言われています。実際に、福井城下の北口に加賀の前田氏への防御として、堅固な加賀口御門と呼ばれた城門が構築されました。そして福井城は、4重、5重と張り巡らされた堀がある立派なもので、城下町としても全国屈指の規模を誇る城下でした。また、一乗の方々だけでなく現在の茨城県にあたる結城の地からも移り住み、その人口は江戸末期3万5千人と言われています。

印牧 信明 氏
昭和36年3月13日生
福井市立郷土歴史博物館　学芸員(主幹)

歴史資産から地域活性化を目指すには

板倉理事長　一乗谷城下、福井城下ともに多くの人口を擁した巨大な城下町であったわけですね。このような城下を支えた、高度な技術や文化はどのように育まれたのでしょうか。

角鹿 尚計 氏
昭和35年6月30日生
福井市立郷土歴史博物館　館長

角鹿館長　「ふくい」というよりは「日本」の気質でもあるのですが、戦国時代から領主を滅ぼしても、庶民までは滅ぼさなかったことが大きいと考えます。つまり、必ず次の世代へ引き継ぐ者がおり、連綿とした流れの中で豊かな文化を育んできた。例えば、中世の一乗谷城下と近世の福井城下は時代も場所も違う中で、町民に引き継がれ城下を築き上げています。京都に近かったことも大きいですが、歴史の中で一定した文化が栄え、引き継ぐことができたことで、これだけの城下を作り上げていけたのだと考えます。

板倉理事長　ひとを通して引き継がれた流れが、城下そして現代に繋がってくるわけですね。これら「ひと」や「まち」に息づく記憶を活かし、そして我々も継承していくことが重要ですね。

角鹿館長　県外へふくいをPRしていこうと思うと、ふくいは歴史があり、さらに数多くの偉人がいます。しかし、偉人が多くいることでシンプルに伝えづらくなっている部分もあるのではないかと思っています。今年は、県として幕末に活躍した偉人のひとり由利公正に絞り、大河ドラマ誘致などを行ってきました。まずは、一人の偉人を全国に発信する。発信し認知された後、そのほかの多くの偉人たちを知ってもらうことが大事だと考えます。ふくいを知るキッカケさえできれば、多くの偉人を輩出した城下やふくいについてもっと興味を持ってもらい、ふくいへの観光やPRにつながるはずです。

岸田会長　私も同じように考えます。広まる、知ってもらうきっかけが大事です。一乗谷で言えば、ソフトバンクのCMにより一乗谷全体が取り上げられました。それまでは、県内でもそれほど大きな注目を浴びることが少なかった一乗谷が、全国的に注目を集め、今では毎年数多くの県内外の観光客が一乗谷・朝倉氏遺跡へ訪れています。また、一乗谷DISCOVERY PROJECTと呼ばれるプロジェクトの中で一乗谷を表した一言に「あまりになにもない。だから面白い。」という言葉があります。なにも残っていなくても、注目を浴びるきっかけづくりさえできれば、どのような形でも地域の活性化につながっていく一つの例だと思っています。

印牧学芸員　きっかけと同時に、ふくいの歴史を体感してもらう取り組みとして観光客などの来訪者がふくいを巡回する流れを作っていくことが必要だと考えます。歴史の史跡には各々の魅力がありますが、今は各々がPRを行い運営しています。朝倉氏遺跡、福井城址、養浩館、そして私どもの郷土歴史博物館には当時をイメージできる多くの展示があります。これをつなげることで、ふくい全体としての歴史的価値を見せていき、さらなる興味・関心を生み出すことで、結果、地域が活性化するのではないでしょうか。

角鹿館長　私ども歴史に関わる者は歴史を調べることが専門であるため、それを地域活性化につなげる術を持っていません。ぜひ、青年会議所の青年経済人の方々が、私どもをうまく活用していただき、歴史的価値から地域経済が活性化する流れを作っていって欲しいと思います。

板倉理事長　ご期待いただき、ありがとうございます。まさに我々は、全国の方々に歴史的アプローチでふくいを知っていただくべく来年度、全国城下町シンポジウム福井大会の開催を予定しています。その上で、現在点として存在している数多くの歴史や史跡をつなげ、線、そして面として広げていくことが重要だと改めて感じることができました。本日は大変貴重なお話をいただき、本当にありがとうございました。

板倉 雄一
昭和52年10月24日生
公益社団法人福井青年会議所　理事長

全国城下町シンポジウム 福井大会

「住み暮らす人には誇りを、訪れる人には感動を」をキーワードに「城下町ふくい」にスポットをあて、県内外の方々へ歴史を通して福井の魅力を感じていただく大会です。開催日は、平成29年5月26日(金)～28日(日)を予定しています。

ふくい育都祭2016 ～城下町ふくいの銘を未来へ～

5月28日(土)、29日(日)の2日間ふくいをもっと好きになってもらうために、ふくい育都祭2016～城下町ふくいの銘を未来へ～を福井の中心市街地(福井市にぎわい交流施設「ハピテラス」及び周辺)にて開催し、約2万5千人の市民の皆様が訪れました。飲食ブースでは福井の食材を活かした店が25店舗出店し、ワークショップでは甲冑体験、餅つきなど福井の歴史文化を体感していただきました。

育都ふくい発信ブースでは、木材を使った木育体験を通して親子で楽しんでいただきました。又、同じブース内で今まで行った福井JCの事業内容を展示し、活動と歴史を知って頂きました。ハピテラスではメインステージを設け、よさこい、和太鼓、書道ガール、お笑い芸人などの方々に迫力あるパフォーマンスを披露していただき盛り上がりを見せていました。28日の夜には、福井駅前周辺をライトアップで彩り、城下町ふくいを感じていただきました。

熊本地震災害支援金のご協力ありがとうございました。

熊本地震の被害に遭われた皆さまへ、心よりお見舞い申し上げます。当会議所では、姉妹都市である熊本市及び熊本地区の被災された方々を支援するため、熊本地震が発生した翌日より、平成28年熊本地震災害支援金の募金活動を実施させていただきました。ご支援いただいた福井市民の皆さま、本当にあたたかいご支援ありがとうございました。支援金合計1,232,018円については、5月21日に熊本青年会議所へお渡しし、熊本青年会議所を通じて被災者の支援に活用いたしました。

育都ふくい構想事業

咲顔溢れる先進地方都市ふくいの実現に向けて

若者や学生を対象に2013年から昨年2015年まで3年間実施してきた懇話会やアンケートなどの事業から得られた検証結果をもとに、育都ふくいを構想することを目的として実施しています。具体的には、事業を通して得られた内容をもとに、まちづくりに関わる様々な有識者との意見交換を通じ、福井JCが今後目指すべき、未来のまちづくりを要望書として作成、福井県と福井市に提出予定です。

ふくいの未来構想コンテスト

学生と考えるふくいが誇れる歴史文化

「福井の歴史文化」をテーマに福井県内の大学生を中心とした学生が集い、まちづくりのプランニングを競うコンテストを実施しています。応募した学生約20名を5チームに分け、各チームが選んだ福井市内の歴史文化ポイントの調査研究を重ねていきながら、若者らしい新鮮な視点で福井の歴史や文化をどのようにまちづくりに活かしていくかのプランニングを作り上げていきます。

今後の予定について 4回目 12月10日(土)
学生プレゼンテーション、表彰式

公開例会

7月公開例会 おもてなしの心を身に備え ～日本文化の基底から学ぶ～

茶道速水流若宗匠・速水宗広氏に講演頂き300名以上の来場者が来られました。講演ではおもてなしの意味や実演等が行われ、パネルディスカッションは速水氏初め、べにや旅館・奥村智代女将、板倉理事長にそれぞれが大切にしているおもてなしを熱く語って頂き、おもてなしの大切さを学ぶ事ができました。

9月公開例会 咲顔溢れるスポーツのまちふくいへ ～しあわせ×げんき×みらいのまち～

本例会は、2018年に行われる福井しあわせ元気国体・大会をテーマに取り上げ、公開例会として開催しました。福井国体の式典総合プロデューサーを務められる、山根一眞氏をお迎えし、ご講演をいただくなど、福井国体開催後のふくいのまちの発展の可能性について、考える機会とすることができました。

ちからプログラム

福井市内の小中学生を対象とし、K.I.T.虎ノ門大学院主任教授三谷宏治氏の監修のもと、年齢に応じた3つの「力」を育む授業型式で行うプログラムです。

低学年には、相手を不快にさせるNGワードを使わず、文章で自分の気持ちを表現する「伝える力」。中学年には、相手の気持ちを理解し、自分と比較し表現する「ほめる力」。高学年には、チームの中で自分の想いを伝え、話し合い、意思決定をする「決める力」。これら3つの「力」の習得を通して、コミュニケーション能力を育成します。このちからプログラムは、本来各対象学年で適切な時期に行うことで、生きる力を育みます。

実施校の声 西藤島小学校

2年生では「伝える力」、4年生では「ほめる力」、6年生では「決める力」を行い、相手の話を聞いたり、自分の想いを伝えたり、相手の意見を尊重したり、物事を決めていくことを子どもたちとともに学ばせてもらいました。福井青年会議所の方が来られ、普段の授業と異なり、子どもたちが真剣に聞く様子を保護者にも見て頂きました。来年も是非お願いし、子どもたちの大きな成長を期待します。

グローカリズム育成事業 ～私からはじまる未来のふくい～

幕末期のふくい初の海外留学生である日下部太郎と、その友人であるW. E. グリフィスの歩みから、郷土愛や夢を追いかける意思や国際的な視野を持ちながら地域の問題に取り組むグローカリズムの意識等を醸成する事業を実施しています。福井市内の小学6年生を対象に作文コンクールを開催し、7つの小学校にて出張授業を実施しました。子供たちが広い視野を持ちながら地域の問題に取り組み、将来のふくいを発展させていくことを期待します。

日下部太郎 グリフィス顕彰事業　映像で見る日下部太郎ホームページで公開中

日下部・グリフィス賞

社南小学校 安間 仁之輔さん
日新小学校 畠中 彩花さん

市長奨励賞

順化小学校 伊佐田 真礼さん

優秀賞

福井大附属小学校 東谷 圭真さん	福井大附属小学校 大瀧 真穂さん	福井大附属小学校 金井 紀さん	上文殊小学校 清川 藍さん
社西小学校 酒井 雄人さん	日新小学校 皿山 桃圭さん	福井大附属小学校 瀬川 椋稀さん	日新小学校 竹内 日彩さん
日新小学校 宮下 萌さん	福井大附属小学校 薮野 幸生さん	福井大附属小学校 山内 玲奈さん	豊小学校 山下 綾心さん

朝倉氏遺跡キッズガイドツアー ～ようこそ！驚きの戦国時代へ～

8月6日、7日に朝倉氏遺跡キッズガイドツアーを開催し、小学4・5・6年生の子どもたち26名に参加していただきました。今年は一乗谷朝倉氏遺跡をメイン会場とし、子どもたちは様々なミッションに挑戦しました。

1日目はこども歴史文化館にて出陣式を行い、またふくいの偉人について学びました。その後、朝倉氏遺跡資料館で歴史を勉強し、山城へ登った後、史上初めてとなる武家屋敷での宿泊で、当時の生活様式を体験しました。2日目は、子どもたちが保護者に対して、2日間で学んだ朝倉氏遺跡の案内ガイドするという形で、子どもたちの成長を保護者にも感じて頂きました。

最初は緊張していた子どもたちも、最後は本当に良い咲顔を見ることができました。多くの皆様にご協力とご参加いただき本当にありがとうございました。

わんぱく相撲 福井大会・全国大会

福井大会

6月25日にわんぱく相撲福井大会を開催しました。13地区127名の小学生が参加し、熱戦を繰り広げました。

勝利のために努力している姿は勿論ですが、負けても礼を忘れず相手への感謝を示す、成長した子供たちの姿に感動しました。

福井大会で優勝した4年生の仲野奏人君(松本)、5年生の室田光稀君(麻生津)、武内楓夢君(松本)は、7月31日に東京両国国技館で行われた全国大会に福井代表として参加、4年生の仲野奏人君が入賞(小結)しました。

全国大会

公開例会

3月公開例会 由利公正 ～ふくいのこころと時代を生き抜くちから～

市民の皆様に、郷土ふくいに対する誇りや愛着の念を醸成していただくため、幕末明治期の偉人である由利公正をテーマに開催しました。歴史家である加来耕三氏にご講演頂き、パネルディスカッションにより福井の歴史の素晴らしさを市民の皆様に知っていただくことができました。

5月公開例会 子育てのヒント ～子どもが伸びる3つのちから～

5月19日に、当会議所の事業である「ちからプログラム」を監修いただいた三谷宏治氏よりご講演を頂く例会を開催させて頂きました。家庭教育において子どもとのコミュニケーションの大事さと直ぐに実践できる具体的な方法を教えて頂き、多くの来場者が子どもとの向き合い方に対する意識が変わり、有意義な時間となりました。

次年度理事長内定！

2017年度 理事長予定者

つじ　たけし

辻　武志

情熱を継承し飛躍となる1年を

2017年は当青年会議所の創立55周年を迎える節目の年であり、全国城下町シンポジウム福井大会の開催という新たな挑戦を行う年でもあります。

創立55周年を機に50周年の時に掲げた“Action Plan from 2012”を検証し、より進化させてまいります。そして、創始以来、ふくいの発展の為に尽力してこられました先人達の情熱を受け継ぎ、明るい豊かなふくいの実現に向けて運動を推進する気概と覚悟をお示ししたいと思います。

そして、全国城下町シンポジウム福井大会は、城下町という同じ歴史環境を持つ全国の仲間と共に、地域の課題や魅力について協議・連携しながら、自分達のまちについての新たな気づきや学びを得る大会です。この大会を開催することで私たちが掲げる「育都ふくいの開発」の実現に向けた運動を加速していきたいと考えています。

2017年は私たちにとって特別な1年となります。皆さまのご指導やご支援、そしてご参画を心よりお願い申し上げます。

新入会員紹介　2016年度下期

いわなが　ゆういち
岩永　唯一
㈱ KREIS

うえの　ともかず
上野　智和
㈱ ムラタ自動車

くわばら　たいき
桑原　大喜
㈱ 武善

ささき　こう
佐々木　紘
東工シャッター㈱

すぎもと　まいみ
杉本　舞美
㈱ ドゥ・ネイルズ

たつしろ　ひさゆき
達城　久幸
㈱エム・ティー産業

たなか　ゆうた
田中　雄太
㈲インテリア正栄

つじもと　としや
辻本　俊也
㈱田端塗装工業

むらた　ゆうすけ
村田　雄祐
ダイエー土地開発㈱

やまもと　みつあき
山本　光昭
㈱光翔

会員募集 2017年度

ふくいのまちのため、子どもたちのために一緒に活動しませんか？

まちと子どもたちの未来のために一緒に歩んでいただける20歳から39歳までの男女を募集しています。

連絡先
0776-33-1750
admin@fukuijc.or.jp

誠心誠意ご説明させていただきます！

会員拡大委員会
委員長 浅井 俊則

福井青年会議所の活動を詳しく公開中！

公式ホームページでは、福井青年会議所で取り組んでいる活動の様子や事業予定などを随時掲載しております。ぜひ一度、ご覧ください。また、フェイスブックではリアルタイムで情報発信を行っています。フェイスブックをお使いの方は、ぜひとも「いいね！」をよろしくお願いいたします。

HPは 福井青年会議所

Find us on Facebook 福井JC Facebook

JCI Junior Chamber International Fukui

公益社団法人　福井青年会議所

〒918-8004　福井市西木田2-8-1 福井商工会議所ビル3階
TEL.0776-33-1750　FAX.0776-33-1752
●URL http://www.fukuijc.or.jp　●E-mail admin@fukuijc.or.jp
●公式FB https://www.facebook.com/fukuijc

発　行　(公社)福井青年会議所
編　集　LOMの魅力発信委員会
委員長　水切 弘典
副委員長　八ヶ代 大祐・吉川 岳司
委　員　木下 剛男・佃 祥孝
山田 圭吾